

□ブラウザ

■Internet Explorer

- ・文書を印刷した場合、添付ファイルの表示に ActiveX を使用している環境では、添付ファイル領域はグレーで印刷されます。
- ・ブラウザのステータスバーに表示されるプログレスバーが、進み続ける場合があります。

■Microsoft Internet Explorer 6

- ・UTF-8 で記述しているため、画面を切り替えると文字サイズが変わる場合があります。

■Windows Internet Explorer 7

- ・添付ファイルを自動で開く設定にしているのに自動で開かない、または自動で開いてもファイルをダウンロードできない場合があります。

回避策は以下のとおりとなります。

1. ブラウザーのメニューバーから[ツール]→[インターネットオプション]を選択します。
 2. [セキュリティ]タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。
 3. [ダウンロード]グループにある[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]の設定で、[有効にする]を選択します。
 4. [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。
- ・Windows XP SP2 の環境で、Windows Internet Explorer 7 を使用してファイルをダウンロードできない場合があります。
Windows XP SP3 を適用するか、以下の手順で回避してください。
1. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
 2. 「control international」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
 3. [言語]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。
 4. [詳細設定]タブをクリックし、[詳細なテキスト サービスをオフにする]チェックボックスをオンにして、[OK]ボタンを2回クリックします。

※右記のサイトからの抜粋。 <http://support.microsoft.com/kb/932823/ja>

■Netscape 7.1

- Flash Player Version 9,0,28,0 は Netscape 7.1 では正常に動作しません。
Version 9,0,16,0 にて動作確認を行っております。
- ブラウザーを最大化にしている状態で画面の操作を行うと、最大化が解除されることがあります。
- 添付ファイルをダウンロード、または参照した場合に、添付ファイル名にヘッダー情報が表示されます。保存時に任意のファイル名に変更してください。
- ファイルをダウンロードする場合、ファイル名の最後に「.do」が付加される場合があります。保存時にファイル名を修正するか、または次の手順を実行します。
 1. ブラウザーのメニューバーから[編集]→[設定]を選択します。
 2. カテゴリのツリーから[Navigator]→[サポートアプリケーション]を選択します。
 3. 「ファイルタイプ」から「application/x-download」を選択し、[編集]ボタンをクリックします。
 4. 拡張子「.do」を削除して、[OK]ボタンを2回クリックします。
- ウィンドウをスクロールする場合に、マウスホイールは使用できません。
- リサイズ時に罫線がずれる場合があります。
- ログイン直後のステータスバーに「～からデータ転送中..」が表示されたままになる場合があります。

固定書式

- ActiveX を利用しない環境で固定書式を末尾に挿入した場合、1行目が改行だけの場合、1行目の改行がなくなります。

簡易承認機能

- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で承認文書を登録する場合、セキュリティ設定の[上位の設定を使用]のチェックは外せません。
- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、承認フォルダーの「キーワード設定」を変更した場合、承認文書のキーワードも承認フォルダーの設定に従って変更されます。

フォーム文書

- ・ フォームを作成する場合、部品の NAME 属性には日本語以外を指定してください。

全文検索

- ・ 簡易検索、詳細検索画面で検索条件に全文検索を含む場合、検索結果をソートすることはできません。

機密文書管理機能

- ・ キー登録を行う場合に利用できる認証コードは、50 文字までです。51 文字以降は切り捨てられます。
- ・ 「1 文書 1 添付ファイルとする」がオンに設定されているフォルダーで機密文書の更新を行った場合、マイキャビネットブラウザで『GlobalDoc の「更新」ボタンを押下してください。』というダイアログが表示されます。[更新]ボタンをクリックする必要はありませんので、[OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

サーバーツール

- ・ 削除対象のフォルダー、文書数が多いとき、ごみ箱文書削除ツールのデータベース処理でタイムアウトが発生する場合があります。タイムアウトが発生した場合は、データベースのタイムアウト時間を長く設定するか、-r、または-dr オプションで、削除対象が少なくなるように(※)指定してください。
※-r オプションを使用した場合は、「日数」に指定した値よりも大きな値を指定します。
-dr オプションを使用した場合は、指定した日付よりも過去の日付を指定します。
- ・ システム環境設定の「更新前文書を表示」を「する」に設定している環境でサーバーツールを実行した結果、バックアップ階層を超えた場合には、指定した更新者ではなく、ツール実行者の「更新前文書」一覧に表示されます。

ファイルのダウンロード

- 添付ファイルの表示に ActiveX を使用していない環境の場合、保存ファイル名の初期値は「文書 ID. 拡張子」の形式になります。

バージョンアップ

- WebDAV 機能を利用する環境の場合、1.00R06 以前に削除した添付ファイルが、バージョンアップ後、WebDAV 文書としてごみ箱に表示される可能性があります。
※このデータは、ごみ箱文書削除ツールで削除できます。
- 1.00R06 以前に添付ファイルを削除して文書を移動していた場合、バージョンアップ後、削除した添付ファイルが復活する可能性があります。

GlobalFlow5 の制限事項

- セキュリティマスター編集画面で、セキュリティ簡易設定表示を利用して権限を設定する場合、ワークフローで使用する「書類監視権」は設定できません。
設定する場合は、セキュリティ詳細設定表示に変更して、設定してください。

文書の削除に関する注意事項

- 1.33R00 以前のバージョンの場合、文書管理権が設定されていない文書を文書管理機能管理者、システム管理者が削除すると、文書情報の一部がデータとして残ります。
-